

三重県予防接種センターについて

『安心して予防接種を受けるために』

～三重県予防接種センターをご存じですか？～

予防接種は、感染症から子どもたちを守り、健康な成長を支える大切な手段です。多くの方は、かかりつけの医療機関で予防接種を受けることができます。一方で、「アレルギーがあるけれど、ワクチンを接種できるのだろうか」「以前、予防接種の後に具合が悪くなったことがある」「接種する時期や回数が分からなくなってしまった」など、不安や疑問を抱える方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

このような予防接種に関する悩みや疑問に対応するため、三重県では2001年に三重県予防接種センターを開設しました。三重県からの委託を受け、国立病院機構三重病院内に設置されている施設です。予防接種に関する相談、ワクチン接種、情報提供などを通じて、県民の皆さんが安心して予防接種を受けられるよう支援しています。

予防接種について、困ったときの相談窓口

予防接種センターでは、県民の皆さんをはじめ、医療機関や自治体などからの相談に対応しています。

例えば、次のような相談が寄せられます。

- **接種の時期や回数が分からない**：予定していた接種を受け忘れた、接種間隔が空いてしまった、母子健康手帳を見ても今後の接種予定が分からない。
- **アレルギーや副反応が心配**：卵や薬剤のアレルギーがある、以前の予防接種後に発熱などの症状があった、過去の副反応を考えると次の接種が不安である。
- **接種を間違えてしまった**：接種するワクチンや量、接種間隔などに誤りがあった場合、今後どのように対応すればよいか分からない。
- **海外で予防接種を受けたことがある**：海外で受けたワクチンの記録があるが、日本でどのように接種を続ければよいか分からない。

こうした場合、自己判断で接種を中断したり、必要以上に心配したりする前に、まずは相談することが大切です。接種歴やこれまでの経過を確認しながら、必要な接種や今後のスケジュールについて検討します。

アレルギーや持病があっても、接種できる場合があります

アレルギーや持病があるために、予防接種を受けられないのではないかと心配される方もいらっしゃるかもしれません。しかし、アレルギー体質があることだけで、すべてのワクチンが接種できなくなるわけではありません。病気の状態やこれまでの症状、接種するワクチンの種類などを踏まえて、個別に判断することが重要です。

予防接種センターでは、アレルギーや過去の副反応などのために接種に慎重な判断が必要な方について、相談に応じるとともに、必要に応じて接種を行っています。

もちろん、すべての方が必ず接種できるというわけではありません。まずは、かかりつけ

医に相談し、必要に応じて予防接種センターの支援を利用してください。

海外へ渡航する方の予防接種も支援しています

海外旅行や留学、海外赴任などの際には、渡航先や滞在期間、現地での活動内容によって、注意すべき感染症や必要な予防接種が異なります。

予防接種センターでは、海外渡航を予定している方を対象に、渡航先に応じた予防接種の相談や接種を行っています。A 型肝炎、B 型肝炎、日本脳炎、破傷風、狂犬病など、渡航先や接種歴に応じて検討するワクチンがあります。

必要なワクチンの種類や接種回数によっては、渡航直前では間に合わないこともあります。海外へ行く予定が決まったら、できるだけ早めに相談することをお勧めします。

県内の予防接種を支える取り組み

予防接種センターの役割は、個々の相談や接種だけではなく、医療従事者や自治体の担当者を対象とした研修会への協力、予防接種に関する情報提供なども行っています。

予防接種を取り巻く状況は、新しいワクチンの導入や接種制度の変更などによって、常に変化しています。正確な情報を医療関係者や行政担当者と共有し、地域全体で適切な予防接種を進めていくことも、センターの大切な役割です。

予防接種について、不安や疑問があればご相談ください

予防接種は、感染症を予防するだけでなく、重症化を防ぎ、子どもたちやご家族の健康を守るためにも重要です。接種について分からないことや心配なことがあれば、一人で悩まず、まずはかかりつけ医に相談してみましょう。必要に応じて、三重県予防接種センターもご利用ください。

三重県予防接種センター（国立病院機構三重病院内）

- 電話：059-236-4155
- FAX：059-236-4156
- 予防接種に関する電話相談：毎週火曜日・金曜日 10 時～12 時、13 時～16 時
- ワクチン外来：原則、毎週月、火曜日 13 時 30 分～15 時（予約制）
- ホームページ：<https://mie.hosp.go.jp/vaccination/>